がんばろう！東北

平成２５年１２月６日
国土交通省　東北地方整備局
北上川下流河川事務所

記者発表資料

“震災前の姿へ”重要文化財「石井閘門（いしいこうもん）」補修開始

東日本大震災で被災した**重要文化財「石井閘門」**について、**報道関係者の皆様へ補修状況を公開**いたします。

現在、専門家の方々による**「重要文化財『石井閘門』保全対策検討委員会」**での補修法方法等に対する検討結果を踏まえて、重要文化財『石井閘門』の煉瓦や笠石等の補修工事を実施中です。

※ 安全確保のため、**一般の方は入場できません。**

【補修状況公開】

１．日　時　　平成２５年１２月１１日（水）１３：３０～１４：３０

※　当日は、重要文化財『石井閘門』保全対策検討委員会委員長の長岡造形大学・木村教授が視察します。

※　工事中の現場ですので、**ヘルメットをご持参下さい。**

２．場　所　　重要文化「石井閘門」【住所】石巻市水押三丁目6

◆重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会の経緯

施設の老朽化と東日本大震災による被災を受けた重要文化財「石井閘門」の補修方法等を検討するため、**平成２４年８月に専門家による委員会を設立**し、これまでに４回開催、水中調査や測量調査、素掘調査等の結果を踏まえて、**今後の補修方針等を協議**して参りました。第４回（平成２５年９月２５日開催）で補修方針がまとまり、この度、**「震災前の姿」を取り戻すための補修工事**を開始しました。

◇「石井閘門」とは・・・。

「石井閘門」は、その歴史的価値により、平成１４年(２００２年)５月に国の重要文化財に指定されています。明治１３年(１８８０年)の完成から１３３年の時を経た重要文化財「石井閘門」は、東北地方開発の拠点として建設が進められた「野蒜築港（のびるちくこう）事業」の一環として、西洋から取り入れられた近代土木技術によって整備され、現在稼働する閘門(※)としては国内最古のものです。

※閘門（こうもん）・・・水位の異なる運河と川などの間で水位を調節し、船の航行を可能にする施設。

発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先

◆国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
（住　所）石巻市蛇田字新下沼８０　　（ＴＥＬ）０２２５－９５－０１９４（代表）
（事務所ＨＰ）http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/

副所長（技術）　佐藤（さとう）　正明（まさあき）（内線２０５）
管理課長　　斎藤（さいとう）　巧（たくみ）（内線３３１）

重要文化財『石井閘門』の補修状況公開

【 位 置 図 】

◆補修状況公開

1. 日時　　：　平成25年12月11日(水)　13:30～14:30

取り外した笠石　H25年11月28日撮影

笠石取り外し後に現れた鉄筋　H25年11月28日撮影

震災前の石井閘門　H17年4月頃

震災直後の石井閘門　H23年3月14日